

やまとの環境

概要版

— 環境基本計画年次報告書 —
平成24年度版（平成23年度実績報告）



平成24年8月（セミのぬけがら調査中の写真）

大 和 市

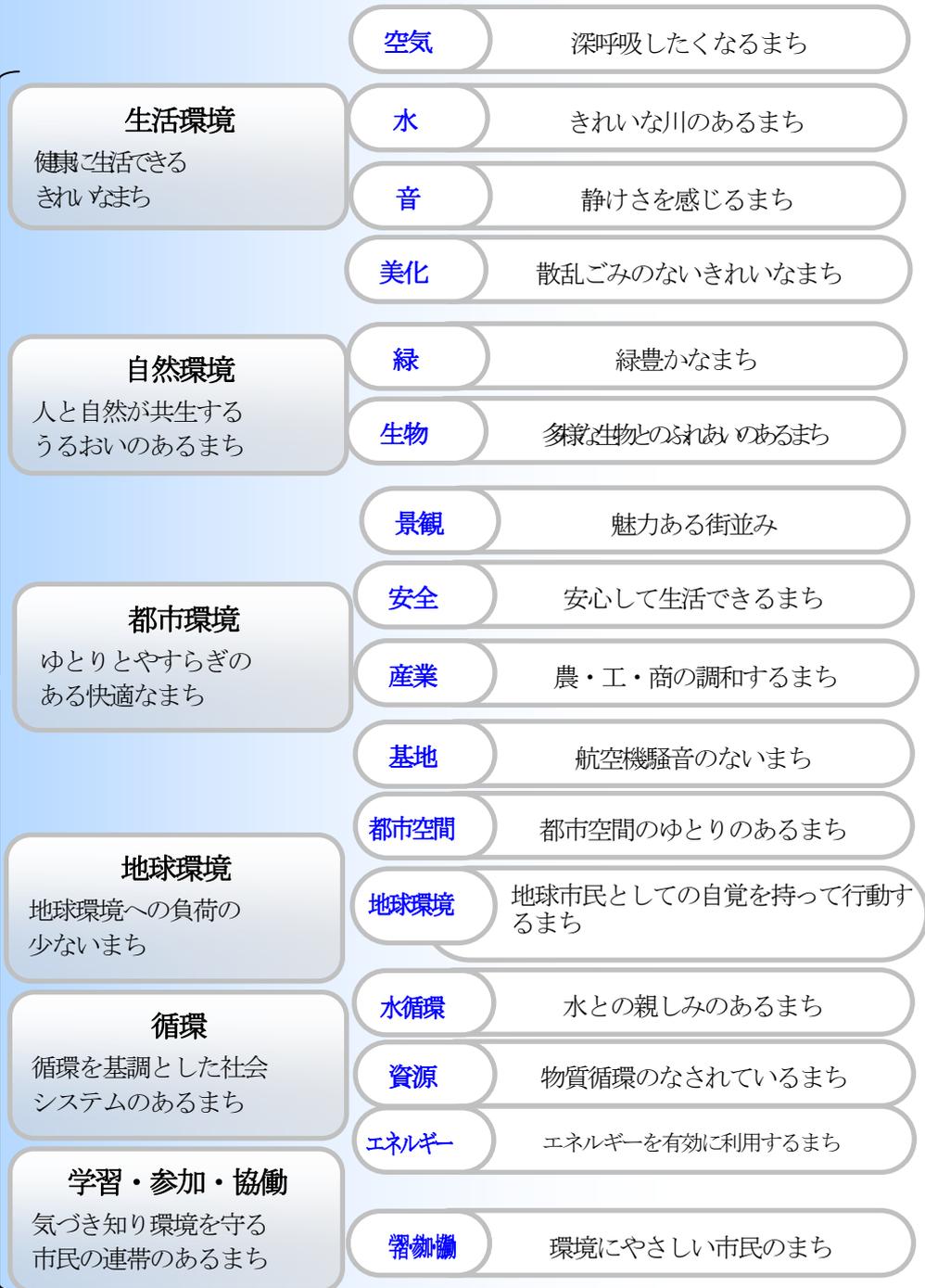
やまとの環境（大和市環境基本計画年次報告書）について

やまとの望ましい環境像、「自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと」の実現のために、大和市では平成11年度に環境基本計画を策定しました。平成19年度には、目標設定水準や施策の見直し、とりわけ地球温暖化対策の推進などを踏まえ、改定しました。

本計画では、目標の達成度や、施策の進行状況を定期的に把握・評価し、必要に応じて見直しや修正を行っていきます。このことから、やまとの環境の現況と、環境基本計画に基づく施策の進行状況等を明らかにするため、ここに年次報告書として取りまとめ、公表することにより、情報の公開と共有を図るものです。

自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと

望ましい環境像の実現



《指標項目についての進捗状況の一覧》

●目標値は概ね平成29年度のものです。

●達成度

○：目標を達成している

△：目標は達成していないが、前年度と同水準又は目標に近づいている

×：目標から遠ざかっている

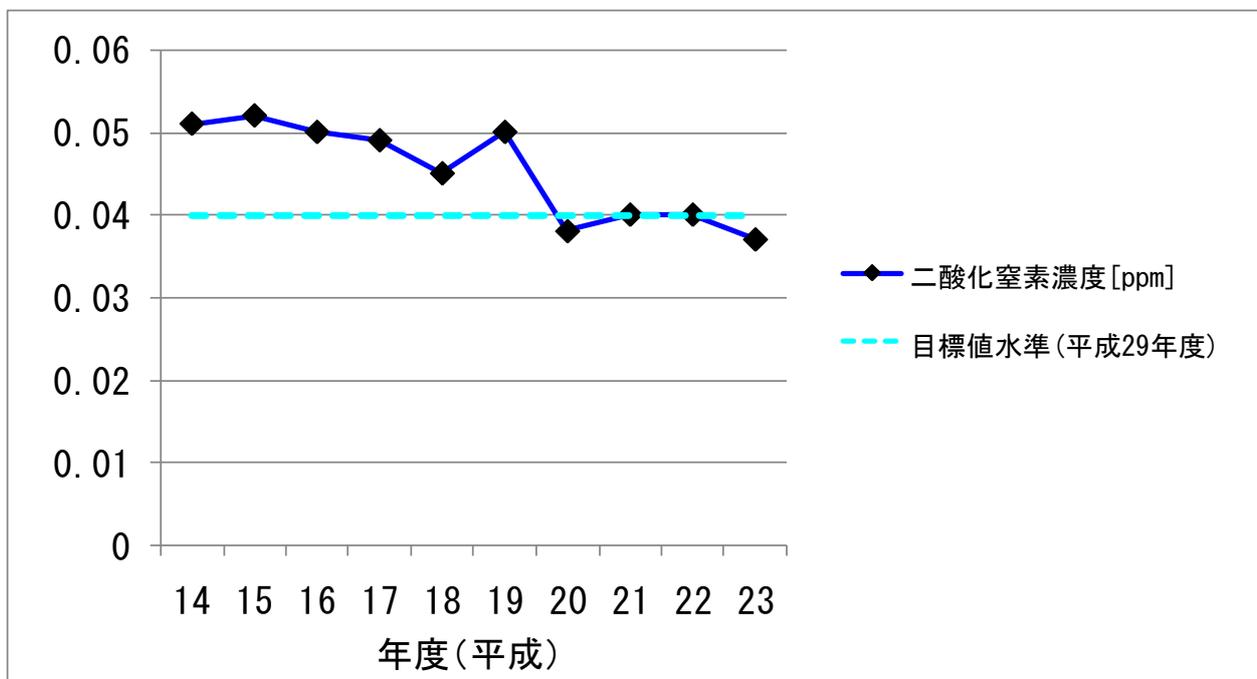
各環境要素の評価一覧

環境要素	指標項目	現況値及び目標値	H22年度数値	H23年度数値	達成度
①空気	二酸化窒素濃度	18年値 0.045ppm	0.040ppm	0.037ppm	○
		目標値 0.04ppm以下			
②水	BOD (生物化学的酸素要求量)	18年値 境川12.5mg/l 引地川11.5mg/l	境川 1.5mg/l 引地川 0.9mg/l	境川 2.0mg/l 引地川 1.2mg/l	○
		目標値 境川3.0mg/l以下 引地川2.0mg/l以下			
③音	騒音に係る環境基準の達成率	18年値 17%	50%	67%	×
		目標値 100%			
④美化	「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 10%	17%	16%	×
		目標値 25%			
⑤緑	緑地率	18年値 18.0%	17.2%	17.0%	×
		目標値 20.4%			
⑥生物	「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 21%	7%	20%	△
		目標値 45%			
	市内でミンミンゼミの生息が確認されていること	18年値 生息を確認	生息を確認	1=生息を確認	○
		目標値 生息を確認			
⑦景観	「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 9%	4%	14%	△
		目標値 25%			
⑧安全	各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数	18年値 4種類	3種	5種	×
		目標値 0種類			
⑨産業	環境マネジメントシステム導入事業所数	18年値 55事業所	55事業所	55事業所	△
		目標値 300事業所			
⑩基地	航空機騒音に係る環境基準の達成率	18年値 0%	0%	0%	×
		目標値 100%			
⑪都市空間	一人当たりの都市公園等面積	18年値 5.89m ²	6.25m ²	6.25m ²	△
		目標値 6.7m ²			
⑫地球環境	二酸化炭素の排出量	18年値 23.6万t-C	23.3万t-C	22.5万t-C	△
		目標値 17.3万t-C			
⑬水循環	河川流量	18年値 境川2.45 m ³ /秒 引地川0.78 m ³ /秒	境川 2.14 m ³ /秒 引地川 0.58 m ³ /秒	境川 2.21 m ³ /秒 引地川 0.58 m ³ /秒	△
		目標値 境川3.5 m ³ /秒 引地川1.0 m ³ /秒			
	雨水貯留槽購入費補助申請件数	18年値 159件(基)	249件(基)	270件(基)	△
		目標値 500件(基)			
⑭資源	資源化率	18年値 22.9%	22.6%	21.9%	×
		目標値 32.1%			
	市民一人一日当たりごみ排出量	18年値 529g	451g	456g	×
		目標値 412g			
⑮エネルギー	公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入	19年値 1施設	6	2	△
		目標値 全施設			
⑯学習・協働	やまとみどりの学校プログラムへの参加校	18年値 23校	26校	28校	○
		目標値 市内全校			
	環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合	19年値 19%	8%	14%	○

環境要素 1：空気

目標：深呼吸したくなるまち

全体の数値目標：二酸化窒素濃度 0.04ppm



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 昨年度と同水準で目標を達成している。

【目標の確認のための取組】 常時監視測定局の大和市役所における、二酸化窒素濃度年間98%値(環境基準)の経年変化

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
二酸化窒素濃度[ppm] →評価：予定通りに進んでいる()	0.050	0.038	0.040	0.040	0.037	0.04

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 18

△到達目標に届かなかった取組の数 : 2

《平成 23 年度の取組事例》

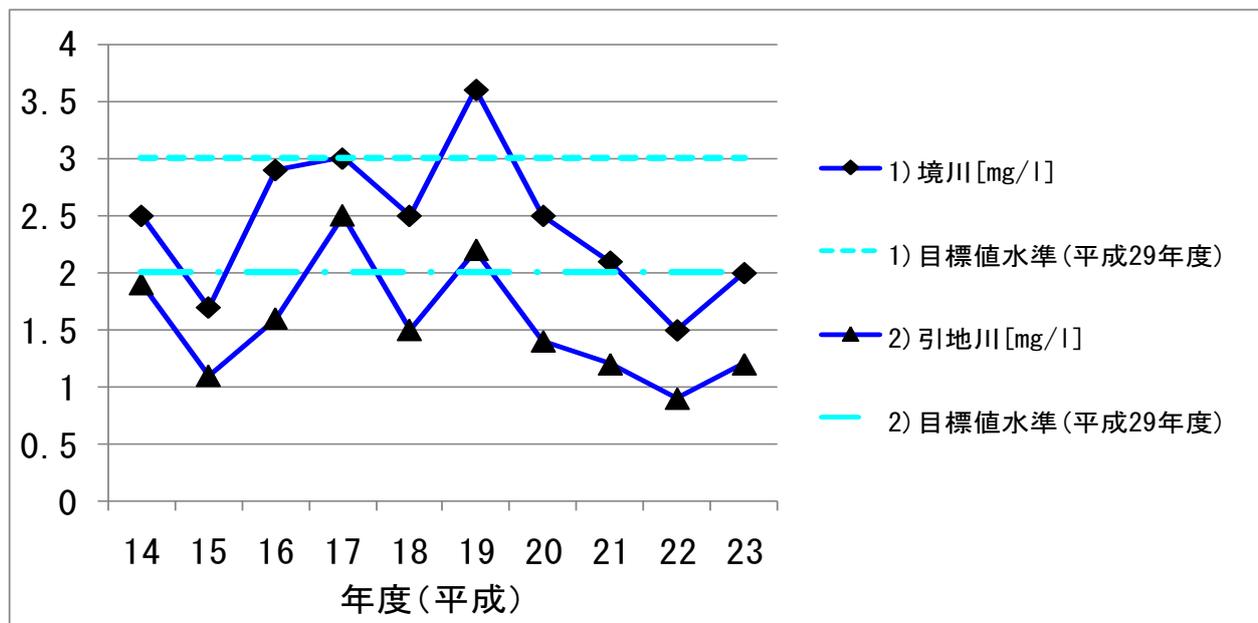
- ・ 上草柳トラックステーションにて、アイドリングストップの調査及び啓発を実施した。(○)
- ・ 環境セミナーを実施し、公用車の効率的な運用について意識啓発を進めた。(○)
- ・ 省エネルギー型車両の導入を進める取組みでは、90台中73台が購入車、17台がリース車で33台のみが低公害車となった(△)

環境要素 2：水

目標：きれいな川のあるまち

全体の数値目標：BOD(生物化学的酸素要求量)

境川 3.0mg/l ・ 引地川 2.0mg/l



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 目標を達成した。

【目標の確認のための取組】 河川の水質測定

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
境川[mg/l] →評価：予定通りに進んでいる()	3.6	2.5	2.1	1.5	2.0	3.0
引地川[mg/l] →評価：予定通りに進んでいる()	2.2	1.4	1.2	0.9	1.2	2.0

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 13

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

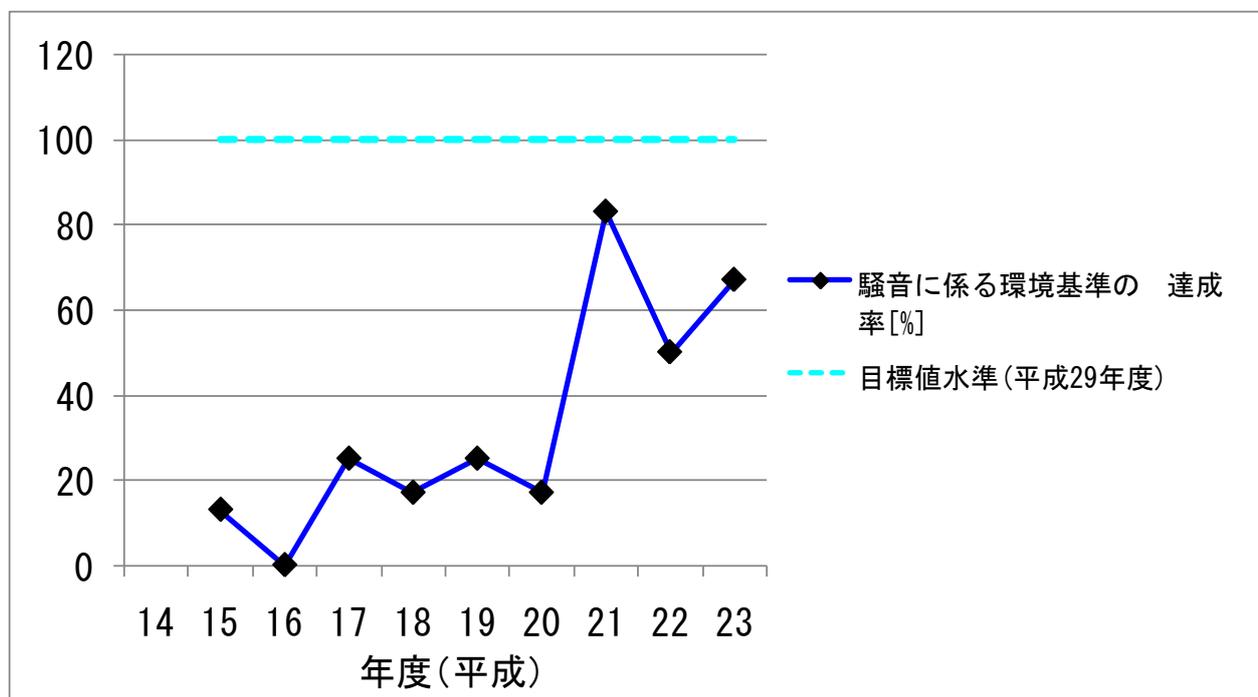
《平成 23 年度の取組事例》

- ・水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、のべ57 事業所について立入調査を行い、39 件について水質検査を実施した。そのうち3 事業所で水質基準違反があった。(△)
- ・生活排水と下水道の役割についての意識啓発のため、下水道出前授業 (19 校)、下水道ポスター展 (応募数 1,559 点) を実施した。(○)

環境要素 3：音

目標：静けさを感じるまち

全体の数値目標：騒音に係る環境基準の達成率 100%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた。

【評価の理由】 環境基準を満足している地点数が4地点となったため。

【目標の確認のための取組】 幹線交通を担う道路における騒音測定

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
騒音に係る環境基準の達成率[%] →評価：予定通りに進んでいる()	25	17	83	50	67	100

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 10

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 3

《平成 23 年度の取組事例》

・事業活動に伴う騒音防止対策のため、事業者に対し、神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく許可申請時等に指導を行った。また、工場・事業場から発生した騒音・振動苦情 19 件について事業者に指導を行った。

(○)

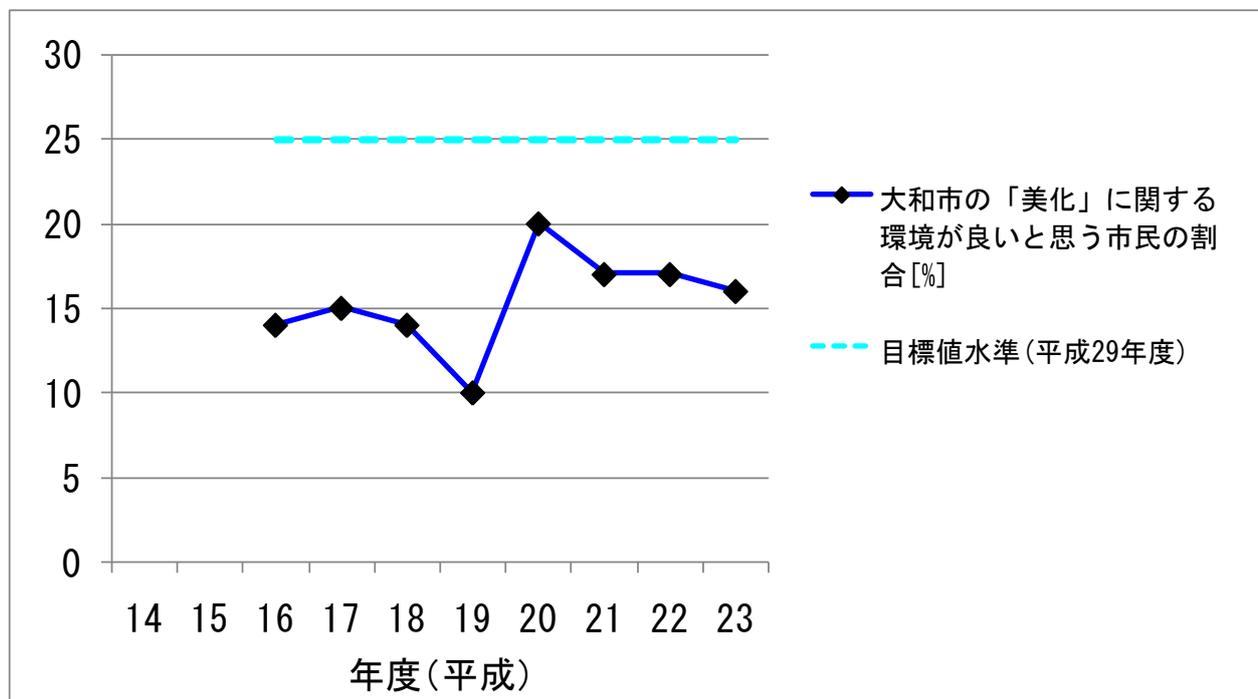
・主要な幹線道路沿いの 6 地点で道路交通騒音の測定を実施した。(○)

・近隣の騒音防止対策として、神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、飲食店等への騒音苦情 3 件について実態調査を行い、事業者に指導を行った。(○)

環境要素 4：美化

目標：散乱ごみのないきれいなまち

全体の数値目標：大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合 25%



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 昨年度と大きな変化がないため。

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケート

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合 [%] →評価：予定通りに進んでいる()	10	20	17	17	16	25

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 2

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 12

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

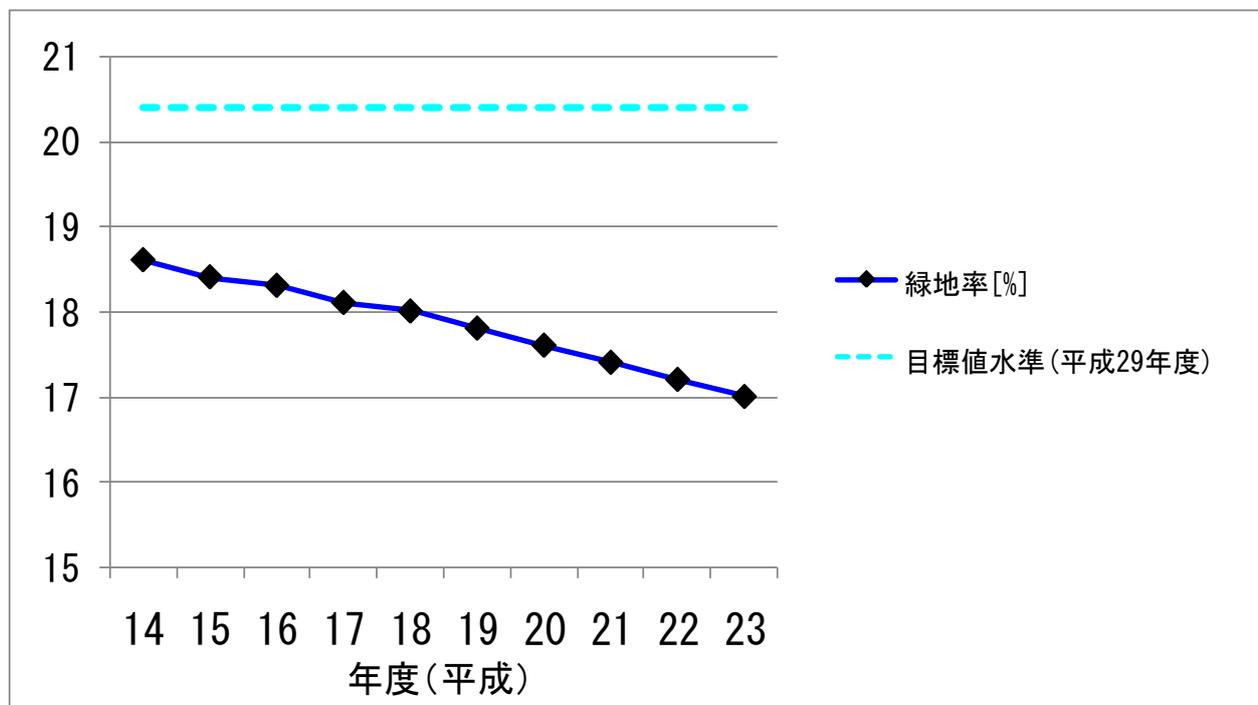
《平成 23 年度の取組事例》

- ・散乱ごみや不法投棄防止の意識啓発のため、啓発看板等の作成やパトロールを行うとともに、ボランティア袋の配布を行った。(○)
- ・大和市ポイ捨て等の防止に関する条例の周知啓発を行った。(○)
- ・地域の美化を推進するため、年間クリーンキャンペーンとして、清掃の日、例月まち並み清掃等を実施した。(○)

環境要素 5：緑

目標：緑豊かなまち

全体の数値目標：緑地率 20.4%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標から遠ざかった

【評価の理由】 宅地化の進展により、僅かずつ緑地の減少が続いている。

【目標の確認のための取組】 固定資産税統計表により緑の割合を把握

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
緑地率[%] →評価：予定よりやや遅れている(目標値から遠ざかっている。)	17.8	17.6	17.4	17.2	17.0	20.4

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 4

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 13

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

—その他の状況の取組の数 : 1

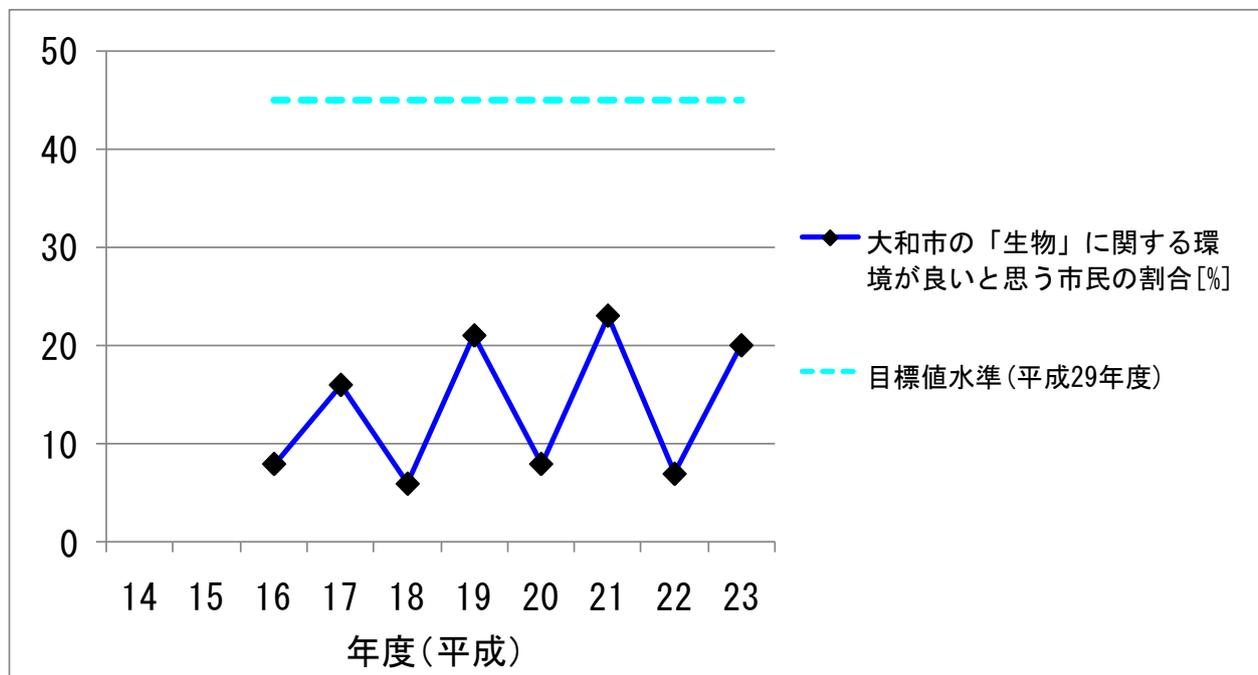
《平成 23 年度の取組事例》

- ・土地所有者との保存樹林等の保存協定継続や新規協定の契約を図ったが、新規協定を結ぶには至らなかった。(△)
- ・緑のカーテン作り方教室を開催し、参加者(35人)へ緑化資源を配布した。(○)
- ・緑化ボランティアを育成し、相互をつなぐネットワークを作るため、トコロジスト養成講座等を実施した。(○)

環境要素 6：生物

目標：多様な生物とのふれあいのあるまち

全体の数値目標：大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合 45%



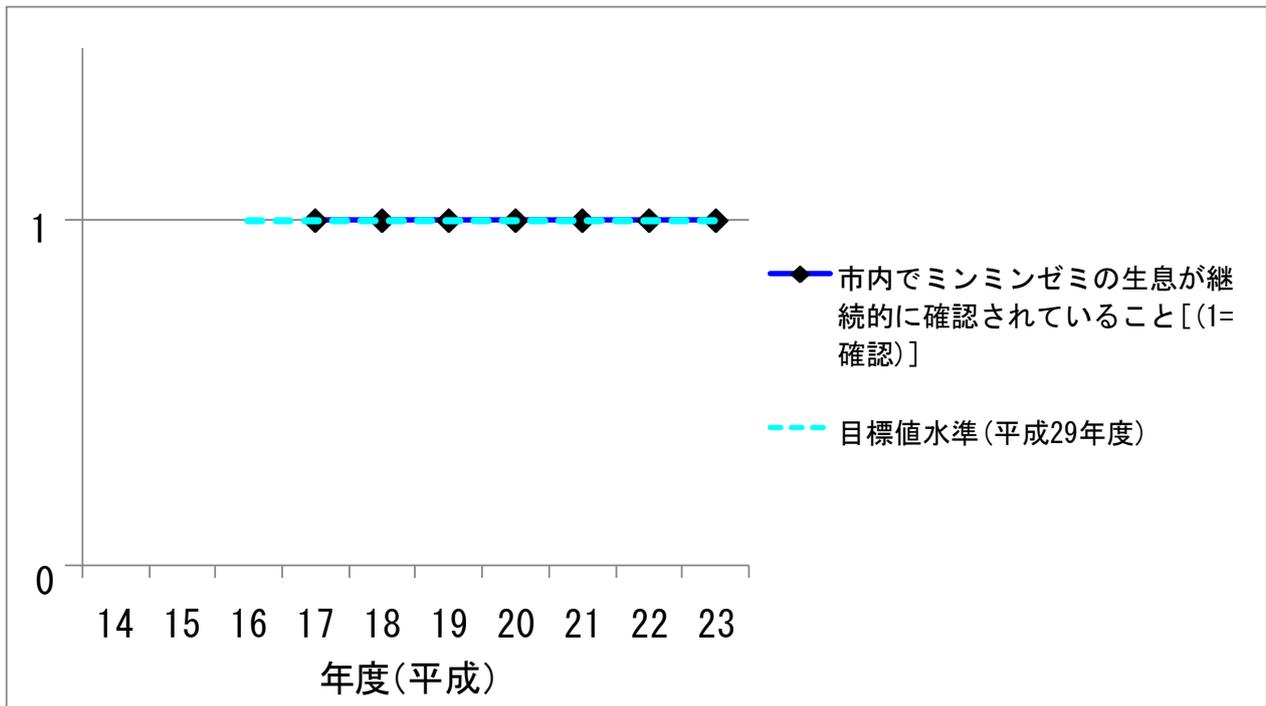
【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 昨年度より高い値となった。

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケート

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合 [%] →評価：予定よりやや進んでいる()	21	8	23	7	20	45

全体の数値目標：市内でミンミンゼミの生息が継続的に確認されていること 1(1=確認)



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 例年同様にミンミンゼミが確認されている。

【目標の確認のための取組】 市民環境調査員による調査結果を反映する

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
市内でミンミンゼミの生息が継続的に確認されていること〔1=確認〕 →評価：予定通りに進んでいる	1 (2,644)	1 (2,411)	1 (2,088)	1 (4,195)	1 (2,006)	1

() はセミの抜け殻の個数

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 9

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

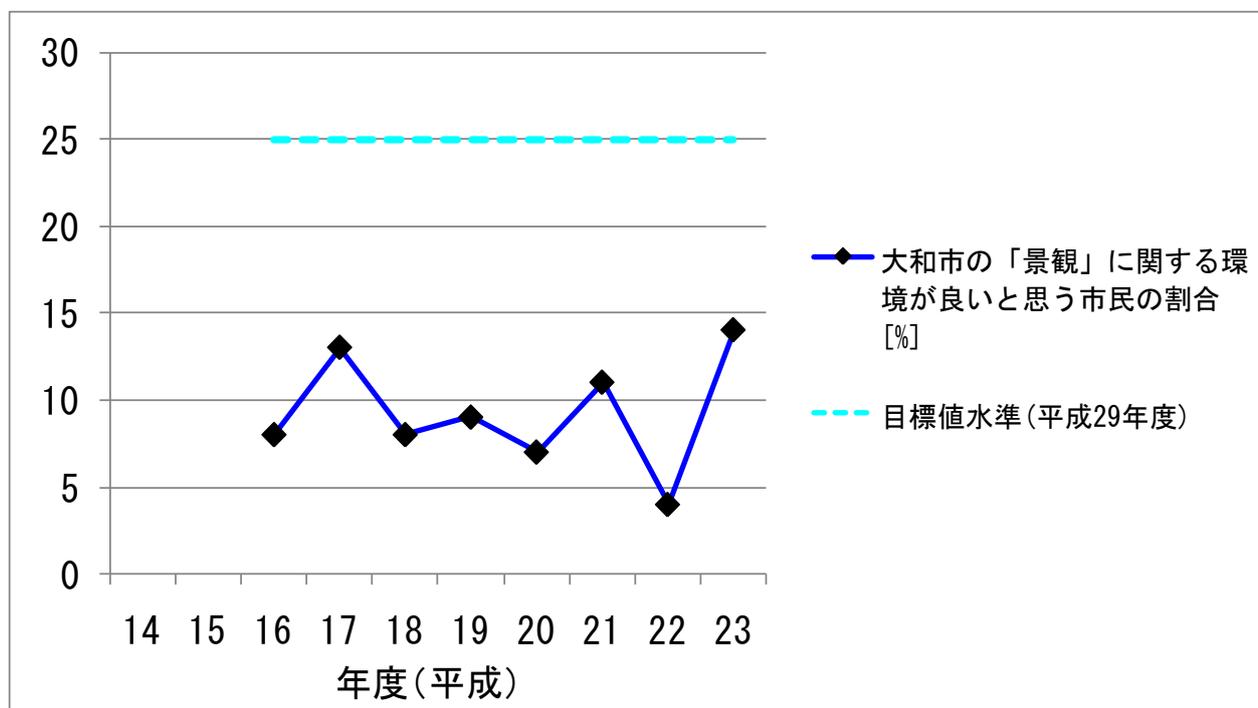
《平成 23 年度の取組事例》

- ・市内に生息する野生動植物を調査する市民環境調査として、7月～9月にセミのぬけがら調査を実施し、ミンミンゼミ等の生息状況を把握した。(○)
- ・野生動植物保護の推進のため、緑地等の保全管理及び傷病鳥獣保護を行った。また、公園の樹木の剪定にあたっては、見通しの確保等の防犯対策だけでなく、野生動植物の生息・生育場所の確保についても配慮し、外周部を中心に実施した。(○)

環境要素 7：景観

目標：魅力ある街並み

全体の数値目標：大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合 25%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 昨年度より高い値となった。

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケート

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合[%] →評価：予定よりやや進んでいる()	9	7	11	4	14	25

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 6

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

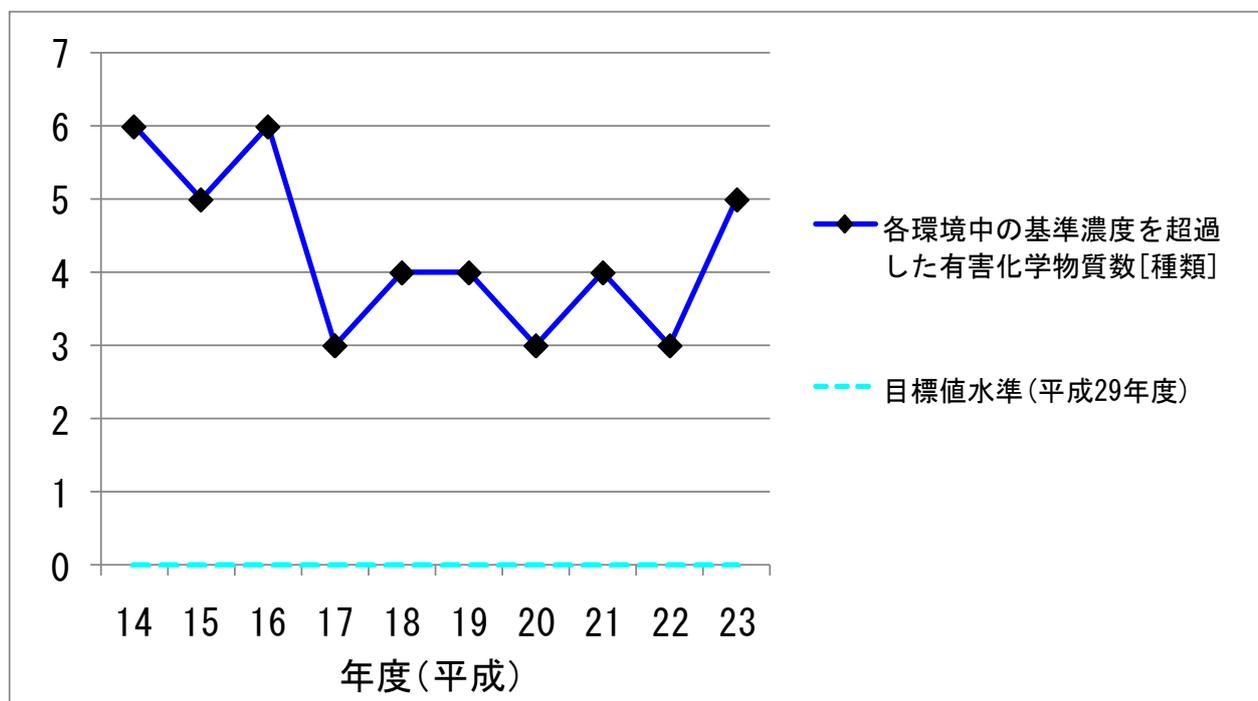
《平成 23 年度の取組事例》

- ・景観づくりに関する普及啓発を進めるため、街づくり学校を開催した。(○)
- ・個性的な表情を持ちながらも全体として調和がとれた統一感のある街並みを創出するため、大和市景観計画・条例に基づき、31 件の協議・届出受理を行った。(○)

環境要素 8：安全

目標：安心して生活できるまち

全体の数値目標：各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数0種類



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標から遠ざかった。

【評価の理由】 超過した有害物質が増加したため。

【目標の確認のための取組】 各環境中の基準濃度と超過した有害物質数の測定

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数[種類] →評価：予定通りに進んでいる○	4	3	4	3	5	0

◎到達目標以上に進んだ取組の数：1

○到達目標どおりに進んだ取組の数：22

△到達目標に届かなかった取組の数：1

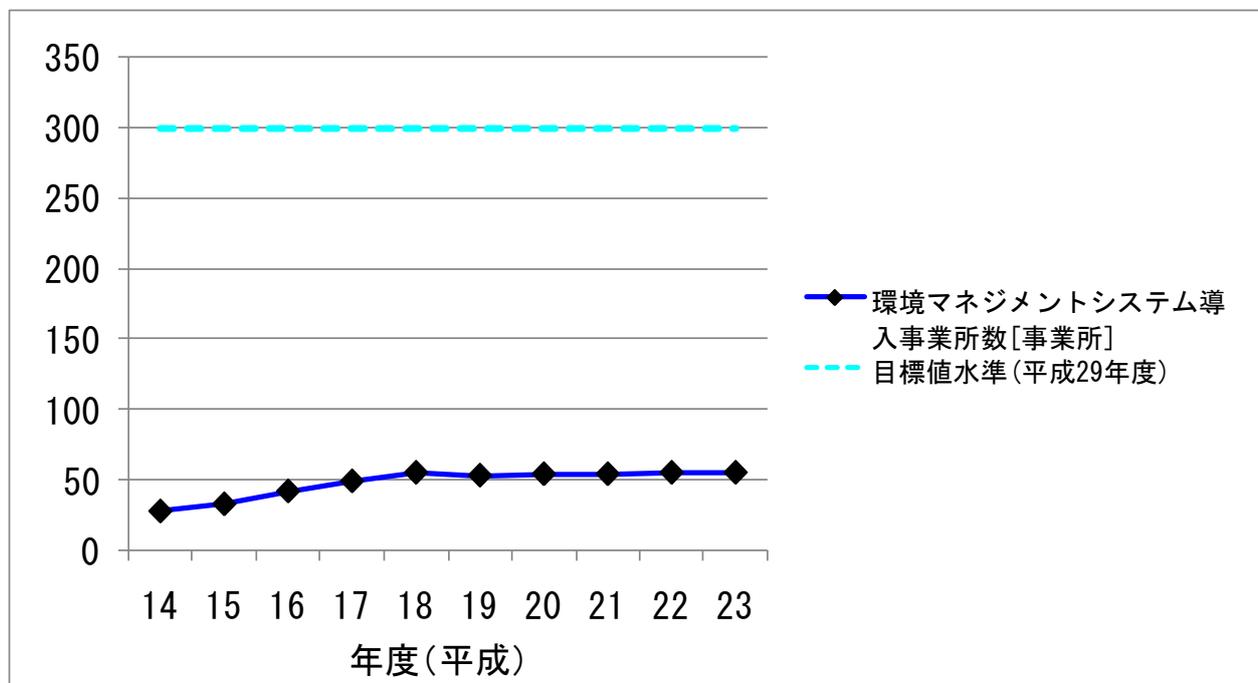
《平成23年度の取組事例》

- ・公共建築物の耐震補強工事を進めるため、消防団第7分団車庫詰所の設計及び建替え工事を行った。(○)
- ・有害化学物質等の環境リスクに対応するため、26事業所について立入調査を実施し、化学物質に対する情報提供や、使用者に対する調査を実施した。(○)

環境要素 9：産業

目標：農・工・商の調和するまち

全体の数値目標：環境マネジメントシステム導入事業所数 300 事業所



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】昨年度と同水準であるため。

【目標の確認のための取組】市内の ISO14001 規格取得事業所の調査による。

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
環境マネジメントシステム導入事業所数[事業所] →評価：予定通りに進んでいる()	53	54	54	55	55	300

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 1

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

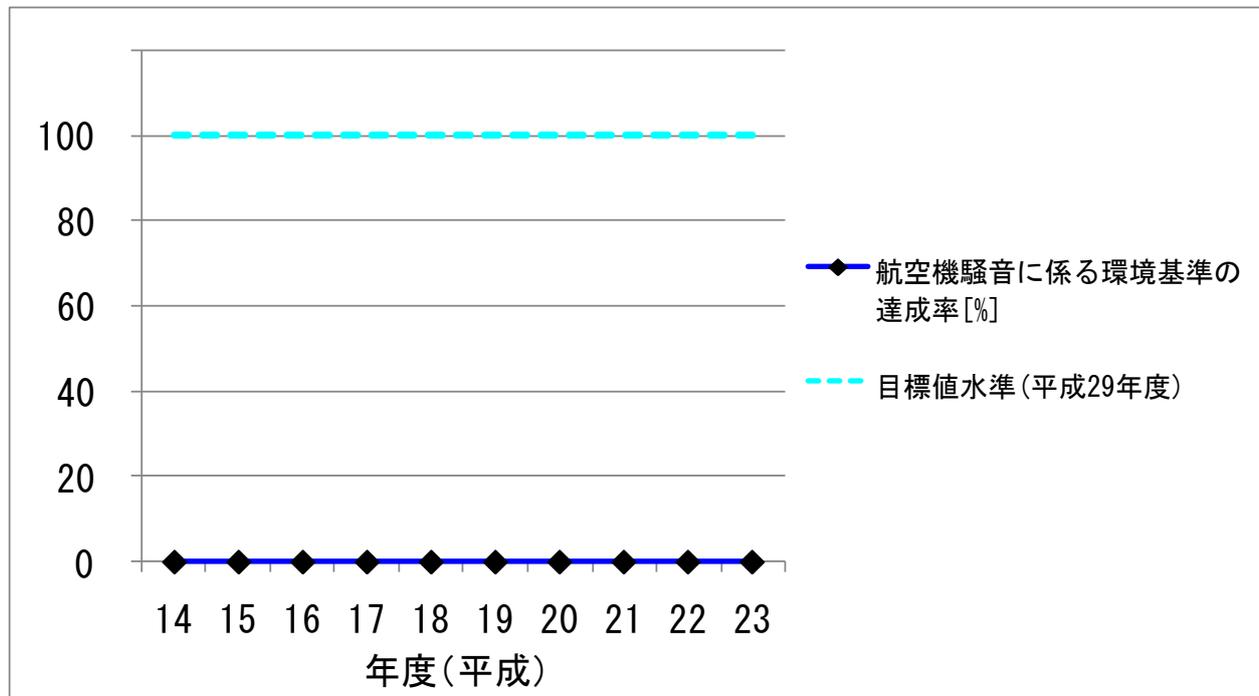
《平成 23 年度の取組事例》

- ・耕作等に伴う環境負荷を低減するため、農業者に対して、環境保全型農業用資材の補助を 4 件実施した。また、環境保全型農業直接支援を法人 1 件に合計 100, 100 円補助した (○)
- ・農業後継者を育成するため、さがみ農業協同組合が行う各種営農指導等を支援し、事業に対して補助金を交付した。(○)

環境要素 10：基地

目標：航空機騒音のないまち

全体の数値目標：航空機騒音に係る環境基準の達成率 100%



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 日米両国間の条約により、国が米軍に施設を提供していることに起因する航空機騒音であり、厚木基地を取り巻く状況は大きく変わっていない。

【目標の確認のための取組】 騒音測定

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
航空機騒音に係る環境基準の達成率 [%] →評価：予定よりやや遅れている()	0	0	0	0	0	100

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 15

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

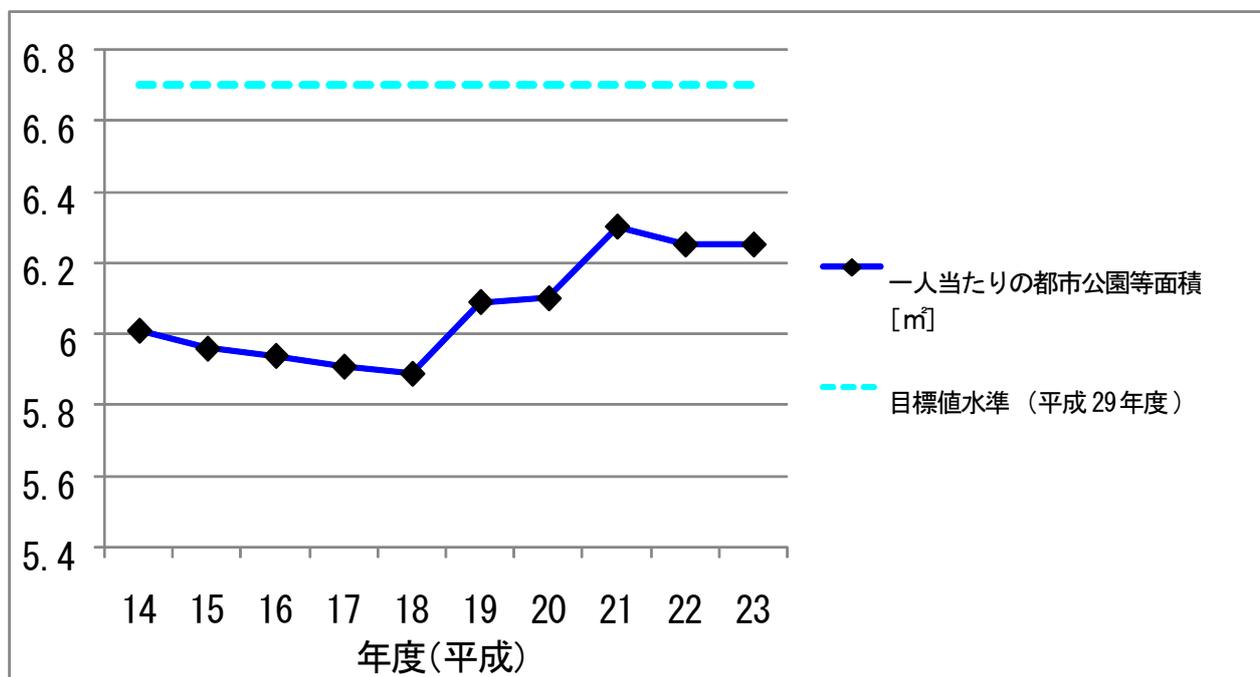
《平成 23 年度の取組事例》

- ・民家の防音対策等の推進について、大和市基地対策協議会、神奈川県基地関係縣市連絡協議会による要請内容に盛り込んだ。(○)
- ・基地に係る環境汚染を把握するために、基地周辺2地点で地下水調査を実施し、すべて環境基準を満足していることを確認した。(○)

環境要素 11：都市空間

目標：都市空間のゆとりのあるまち

全体の数値目標：一人当たりの都市公園等面積 6.7㎡



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 人口の増加に応じた面積にほぼ対応している面積の公園整備を行っている。

【目標の確認のための取組】 「緑の基本計画」の目標水準に沿って取り組んだ。

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
一人当たりの都市公園等面積[㎡] →評価：予定通りに進んでいる()	6.09	6.1	6.3	6.25	6.25	6.7

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 15

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

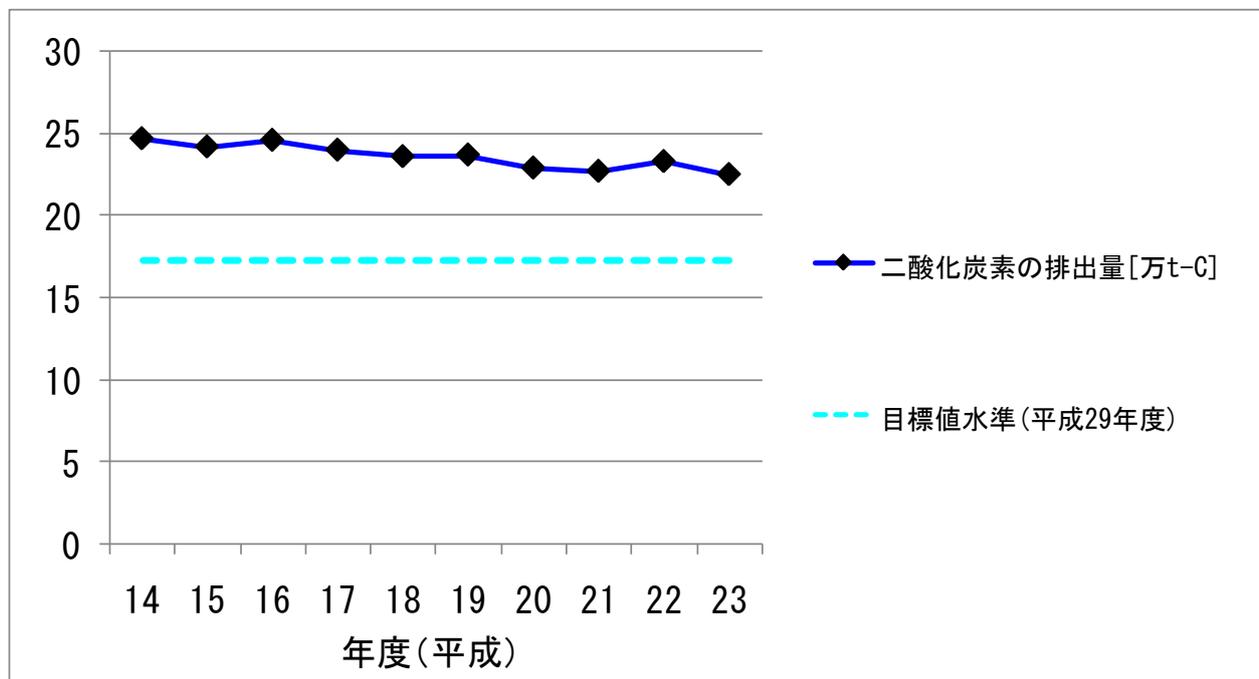
《平成 23 年度の取組事例》

- ・人と環境にやさしい社会基盤の整備のため、各期における交通安全運動において、街頭キャンペーン等の普及啓発を実施した。(○)
- ・開発等に伴う環境問題の発生を未然に防止するため、開発事業の適正な指導を行い(事前協議件数 79 件)、環境良好な生活環境の確保に努めた。(○)

環境要素 12：地球環境

目標：地球市民としての自覚を持って行動するまち

全体の数値目標：二酸化炭素の排出量 17.3 万 t-C



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 排出量が昨年度より低い値となった。

【目標の確認のための取組】 市内のエネルギー供給量調査に基づく温室効果ガス排出量算定結果(推計値)による。

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
二酸化炭素の排出量[万 t-C] →評価：予定通りに進んでいる()	23.7	22.9	22.7	23.3	22.5	17.3

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 10

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

《平成 23 年度の取組事例》

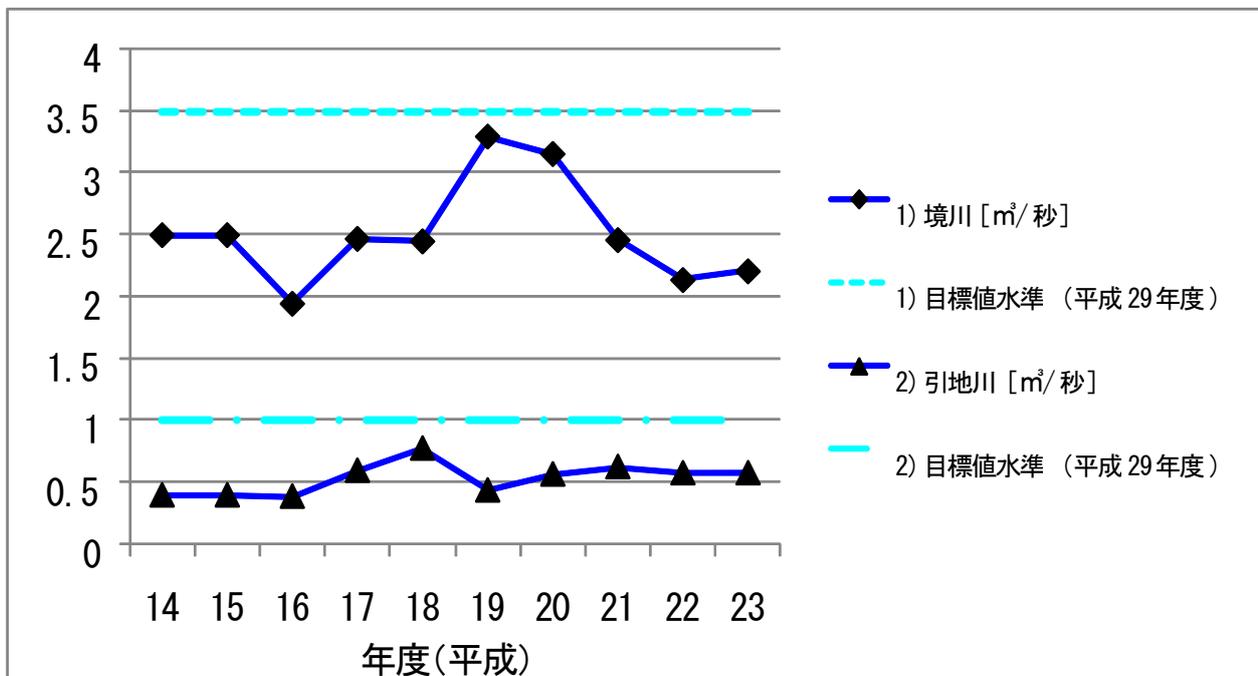
- ・再生可能エネルギーの活用を促進するため、住宅用太陽光発電システム設置費補助及び住宅用太陽光発電売電補助により、太陽光発電システムの普及を進めた。(○)
- ・交通・運輸からの二酸化炭素排出量を削減するため、上草柳にあるトラックステーション利用者に対し、アイドリングストップの調査・指導を行った。アイドリングストップ率は約74%であった。(○)

環境要素 13：水循環

目標：水との親しみのあるまち

全体の数値目標：河川流量

境川 3.5m³/秒 引地川 1.0m³/秒



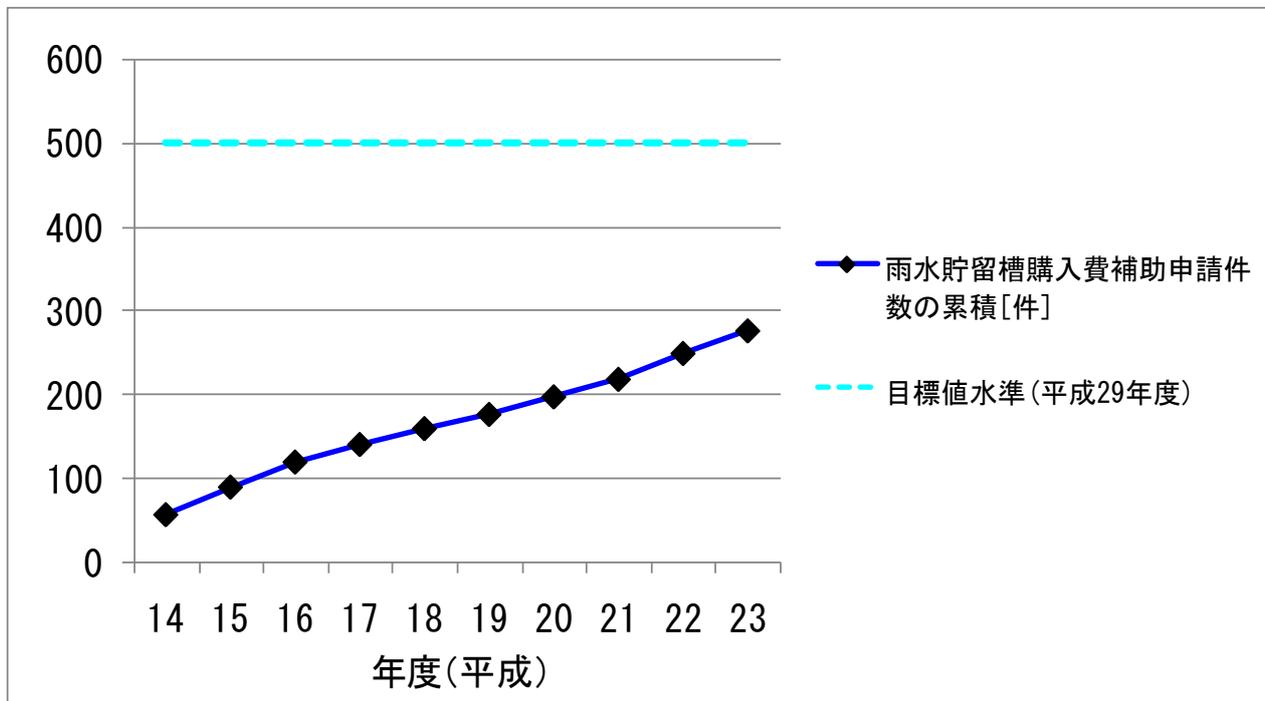
【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 水と親しめる空間ができています。

【目標の確認のための取組】 境川・引地川の流量測定

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
境川[m ³ /秒] →評価：予定通りに進んでいる()	3.29	3.15	2.46	2.14	2.21	3.5
引地川[m ³ /秒] →評価：予定通りに進んでいる()	0.44	0.57	0.63	0.58	0.58	1.0

全体の数値目標：雨水貯留槽購入費補助申請件数の累積 500 件



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 申請基数が順調に増加している。

【目標の確認のための取組】 雨水貯留槽購入費補助申請件数

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
雨水貯留槽購入費補助申請件数の累積[件] →評価：予定通りに進んでいる()	176	197	218	249	276	500

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 10

△到達目標に届かなかった取組の数 : 2

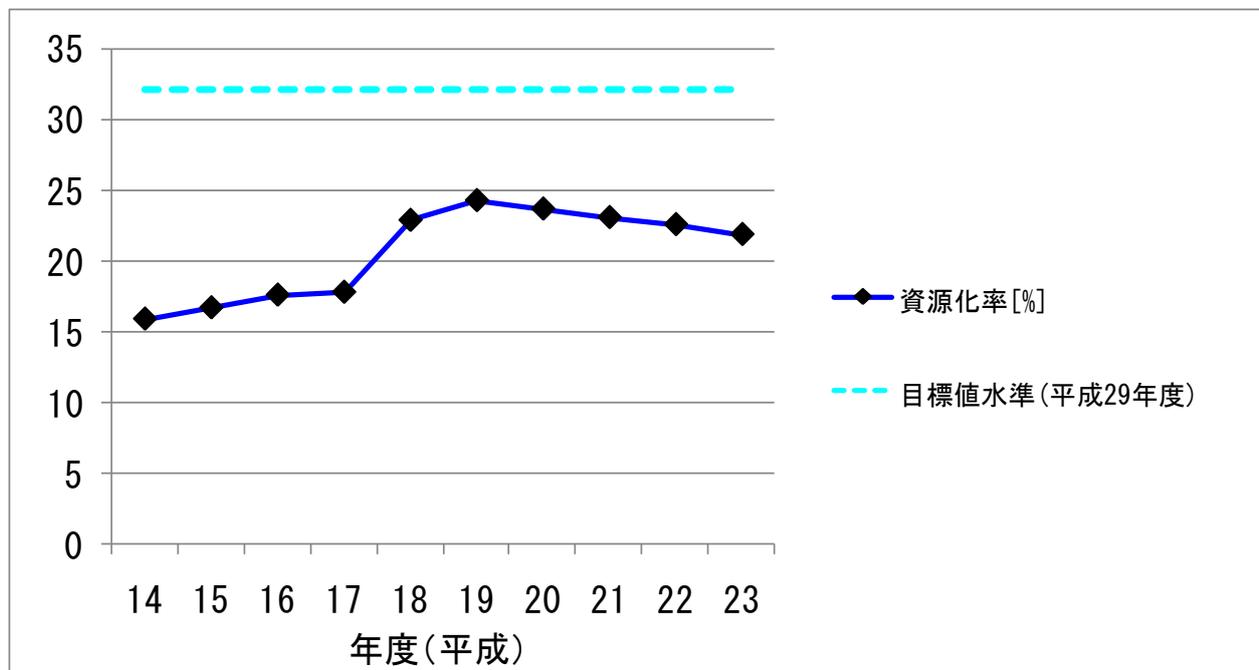
《平成 23 年度の取組事例》

- ・雨水の利用を進めるため、雨水貯留槽購入費補助制度を実施し、27 基に対して補助金を交付した。(○)
- ・水の使用量を減らす工夫を推進するため、市内中学校にかんきょうノートを配布し、節水等の普及啓発を行った。(○)
- ・地下水・土壌の汚染状況を把握するため、市内 24 地点で地下水水質調査を実施した結果、テトラクロロエチレンが 3 地点で、トリクロロエチレンが 1 地点で環境基準を超過していた。(△)

環境要素 14：資源

目標：物質循環のなされているまち

全体の数値目標：資源化率 32.1%



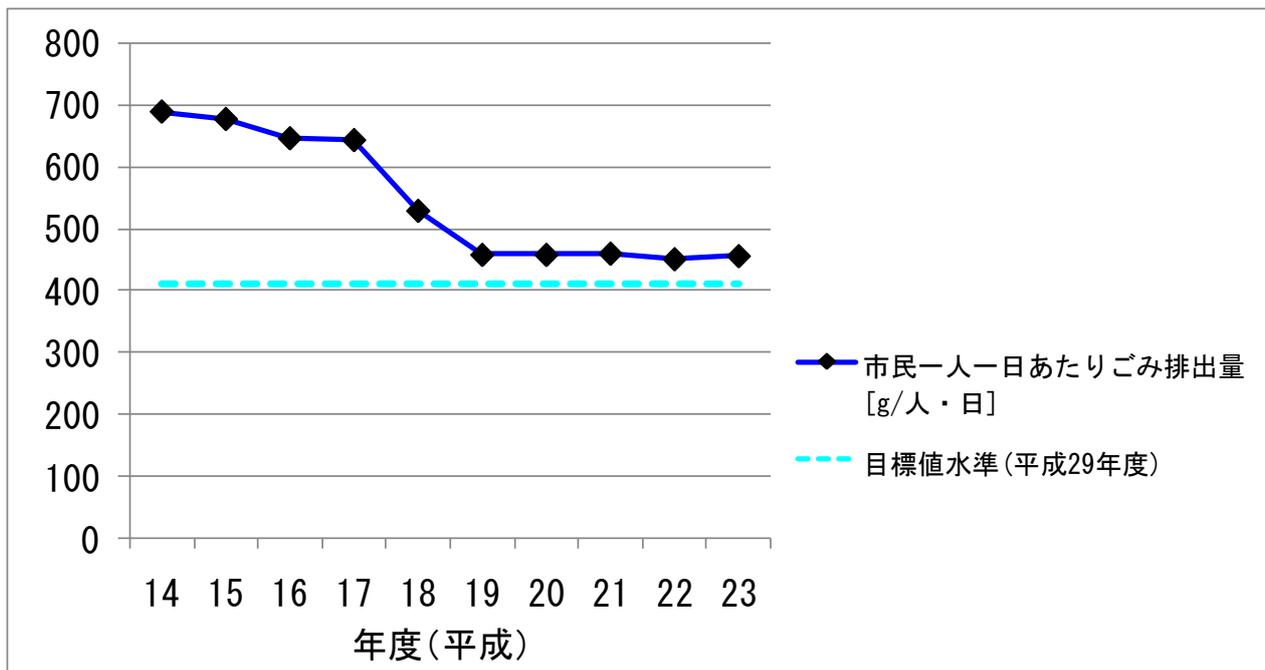
【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】資源分別回収については、市民に定着している。

【目標の確認のための取組】総ごみ排出量及び総資源化量の集計

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
資源化率[%] →評価：予定よりやや遅れている(価値観の多様化、経済状況の低迷等により、新聞・雑誌類の回収量が減少している。)	24.3	23.7	23.1	22.6	21.9	32.1

全体の数値目標：市民一人一日あたりごみ排出量 412g/人・日



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 資源分別回収については、市民に定着している。

【目標の確認のための取組】 総ごみ排出量及び総資源化量の集計

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
市民一人一日あたりごみ排出量[g/人・日] →評価：予定通りに進んでいる(対前年度比微増となり、平成23年度の目標値を若干下回った。)	458	458	460	451	456	412

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 24

△到達目標に届かなかった取組の数 : 4

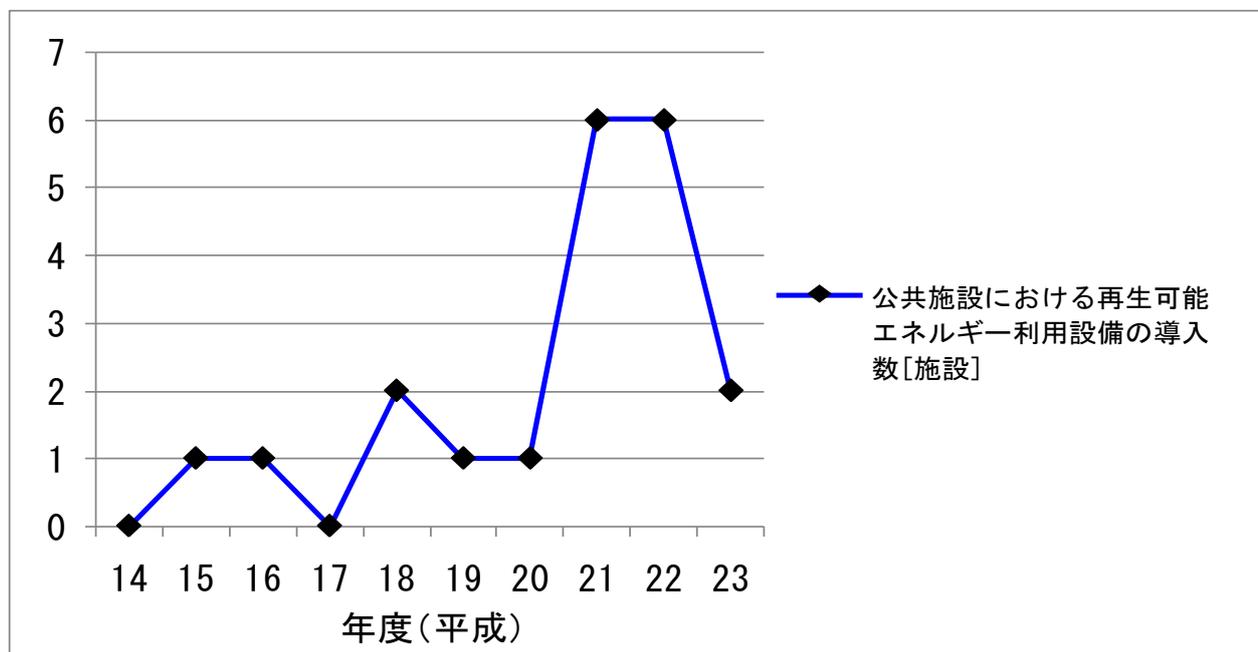
《平成23年度の取組事例》

- ・公共施設における有機物のリサイクルを進めるため、単独調理校6校において、生ごみ処理機による学校給食残さの堆肥化を実施した。(○)
- ・緑のリサイクルを促進するため、個人・事業主等に対して、ガーデンシュレッダーの補助を行った。(△)
- ・一般住宅・集合住宅での生ごみ処理容器利用を促進するため、電動式生ごみ処理機及びコンポスト容器等、計110基の補助を行った。(△)

環境要素 15：エネルギー

目標：エネルギーを有効に利用しているまち

全体の数値目標：公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入数：全施設



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 新たに2施設で再生可能エネルギーを導入した。

【目標の確認のための取組】 公共施設における新エネルギーの活用状況の調査による。

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入数[施設] →評価：予定通りに進んでいる○	1 (8)	1 (9)	6 (15)	6 (21)	2 (23)	全施設 〇内環計

◎到達目標以上に進んだ取組の数：0

○到達目標どおりに進んだ取組の数：10

△到達目標に届かなかった取組の数：0

《平成23年度の取組事例》

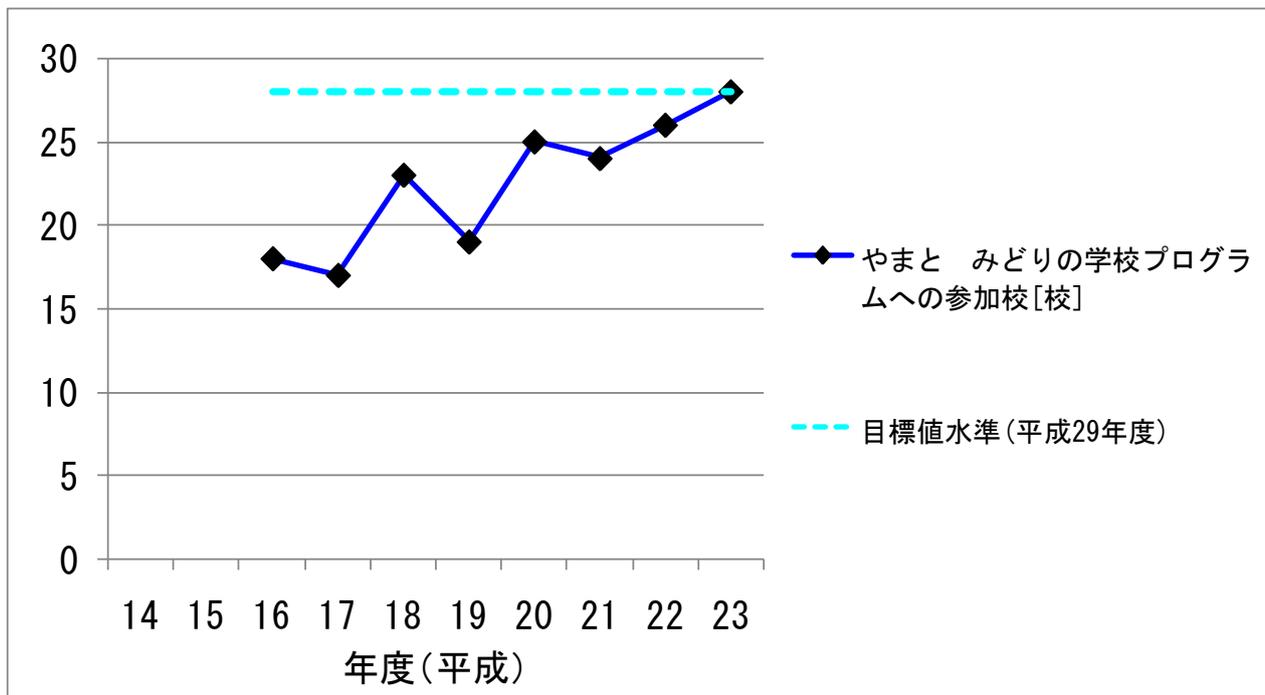
・住宅における省エネルギーへの配慮を促進するため、省エネ法の届出において指導を行った。省エネ法の基準値に対して著しく不十分となる住宅は無かった。(○)

・公共施設における再生可能エネルギー利用の促進のため、本庁舎車庫棟に太陽光発電設備の設置を行った(○)

環境要素 16：学習・参加・協働

目標：環境にやさしい市民のまち

全体の数値目標：やまと みどりの学校プログラムへの参加校 28校



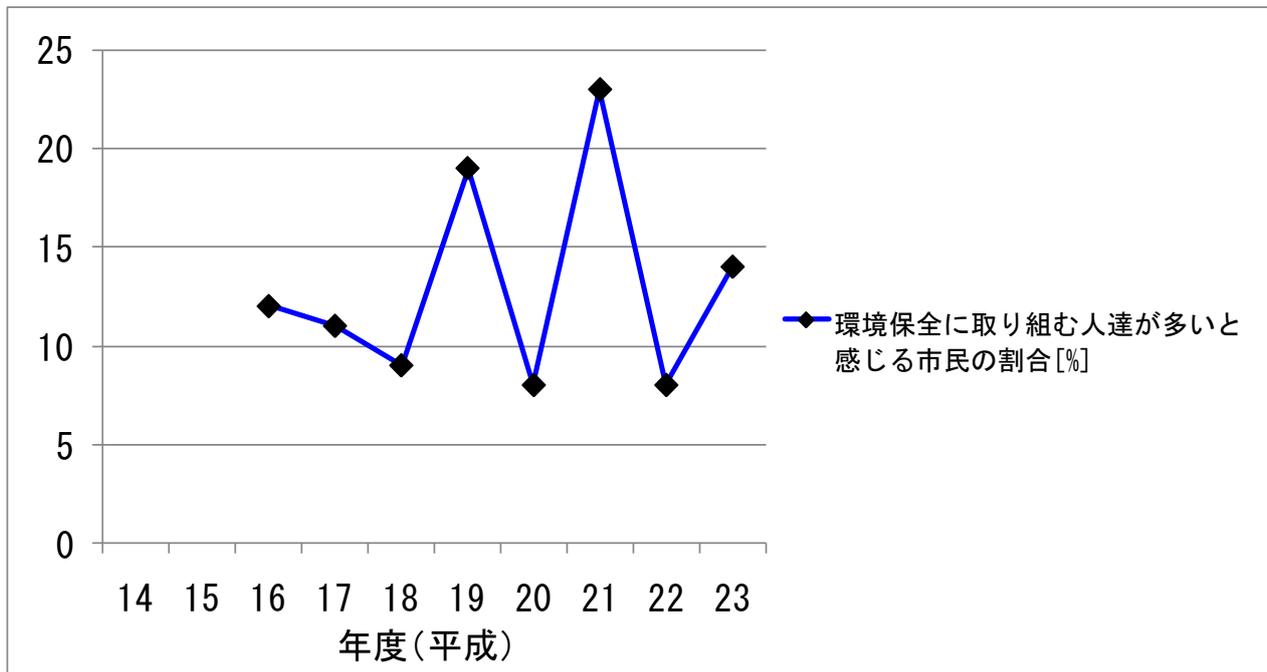
【本年度の評価】 昨年度より大きく目標に近づいた

【評価の理由】 昨年度より2校増加し、全小中学校が参加した。

【目標の確認のための取組】 やまと みどりの学校プログラムへのエントリーの確認

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
やまと みどりの学校プログラムへの参加校[校] →評価: 予定よりかなり進んでいる()	19	25	24	26	28	28

全体の数値目標：環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合が前年度と比べ増加



【本年度の評価】 昨年度より大きく目標に近づいた

【評価の理由】 昨年度より2校増加し、全小中学校が参加した。

【目標の確認のための取組】 やまとみどりの学校プログラムへのエントリーの確認

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値
環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合[%] →評価：予定通りに進んでいる()	19	8	23	8	14	前年度より増加

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 19

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

《平成23年度の取組事例》

- ・小中学校での環境教育を推進するため、やまとみどりの学校プログラムへのエントリーを呼びかけ、28校から、計51件のテーマのエントリーがあった。(○)
- ・市民参加による環境保全活動の取組みとして、市民調査員延べ114人が参加し、セミのぬけがら調査を実施した。(○)